

ひと・夢・まち 町長コラム

「知・徳・体とは？」（令和元年8月号） （西郷どんの教え vol.3）

三章の原文は「政の大体は文を興し、武を振い、農を励ますの三つにあり。」と、政治の根本は、学問を興し、軍備を充実し、農業を奨励することを教えています。国づくり、町づくりの基本は教育、わが身を護る防災、そして第一次産業である農業の振興であり、その他の全てのことは、皆この三つの課題を実現させるための手段であり、この三つの課題を後回しにして、他のことを先にするようなことは決してあってはならない。と、言っています。

この三つを学校での大切なことに言い換えれば、よく学び「知」、よく運動し体を鍛え「体」、そして、学校のため人のために思いやりの心を持つ「徳」を重んじることになるようです。町づくりの観点から言えば「文化」「健康」「共助」となります。時代は変われど、この教えは心に響いてきます。

今年成人式を迎えられた若人にとっても、我々人生百年時代を生き抜く者にとっても、常に一考すべきことである。と思います。